

春に誘われて難波宮跡公園・森之宮・大阪城境界の施設、お店にお越しください  
 お買い物は「レディースセレクトショップ「Sucreスクレ 森ノ宮」、  
 「もりのみやキューズモールBASE」のお店へ！  
 お食事は「菜蔵」、もりのみやキューズモールBASEの「アスшок」、  
 「KKRホテル大阪」で楽しもう！



超ローカル・ミニコミ紙  
 発行：一般財団法人大阪市教育会館

ミニミニ 難波宮講座

2023年度は「大化改新と難波宮」をテーマに一般財団法人大阪市文化財協会の南秀雄先生に講演していただきました。今年度最後の4回目は「大化改新と難波宮(上)前期難波宮の遺構と官僚制、その使われ方」について講演していただきました。

〇大化改新のねらいとは

大化改新は、公民法制と官僚制の成立をねらいとして始められた。公民法制とは、土地と人民を掌握し、税金を正確に徴収するためである。このことは難波宮の遺構からはわからない。しかし、官僚制については、難波宮の遺構からわかることがある。官僚制についてある程度わかれば、大化改新がどの程度史実と近かったのかがわかる手掛かりになる。

〇官僚制

官僚制の整備状況を知るには、2つの遺構が手掛かりになる。一つは「曹司」官衙(役所)で、宮殿に伴う役所群がどうなっていたのか。下位の役人から上位の役人まで日常の業務がどのようになつていったのかが推測できる。もう一つは「朝堂院」という中心の部分の役人が朝集まって仕事をすること(「朝参」という)。政治や政務に従事したり(「朝政」という)。儀式に参加したりする(「朝会」という)。この2つの遺構は発掘されている。どれくらい整っているのかということが手掛かりになる。



▲ミニミニ難波宮講座の様子

難波宮跡公園の敷地内には、大化改新の遺構が数多く残っています。その中でも、難波宮の遺構は、大化改新の歴史を物語る重要な手がかりです。今回は、難波宮の遺構と官僚制について、南秀雄先生に講演いただきました。講演では、大化改新のねらいや、官僚制の整備状況について詳しくお話いただきました。興味のある方は、ぜひお越しください。

〇前期難波宮の曹司(高橋トモコ) (1) 難波宮は、複雑な地形のところに建てられている。細かな谷があり、そこには建物や建物が建てられていて、立地の良い区域に建てられていて、立地が見られる。機能の分化、行政機構の分化と考えられる。

①内裏東方官衙地区：現在の阪神高速を挟んで北側付近にある。天皇の住んでいる内裏のすぐ近くにあり、ゆつたりと建物や建物が建てられていて、切られた様子はない。これが特徴になっていて、天皇の私生活を支える役所であったと推測できる。東宮(皇太子)の居場所という説もある。

②内裏西方官衙地区：現在のNHKや歴史博物館あたりにある。堀に囲まれた大型の倉庫群がきれいに並んでいる。広く開かれた作業空間になっていて、細長い大きな建物跡があり、ものを出し入れするための作業空間があり、ものを出し入れを管理するための建物だと考えられる。倉庫だけが立ち並ぶ場所、後の「大蔵省」のような施設だと考えられる。

③朝堂院東方官衙地区：教育会館のあたりで、小区域に区分されていて、相似形の建物配置になっている。様々な事務的な国務を遂行することを目的とした役所群だと見受けられる。ここには火災の痕跡がない。日本書紀に「唯兵庫庫不焚焉」と記載されている。このことから武器を保管する「兵庫庫」説もある。官衙ではない一面が東端から発掘されている。「浜台」のような饗宴施設や、閉鎖的に閉った宗教施設などの考えがある。

④西方官衙官衙地区：谷などがあった十分な建物や建物が建てられていて、難波宮の官域の外にも役所が造られていて、銅屋公園あたりが独立した高台になっている。北側に堀を配し、この小さな高台を区画し、朝堂院東方官衙地区のような規則的な建物群がある。海への眺望が開けていることから饗宴施設という考えもある。

⑤西南方官衙官衙地区：難波宮の南西方向の土町筋あたりにある。細長い建物や南北に並ぶ特徴的な配置になっている。事務的な政務を担

当する建物とは異なっている。類似の細長い建物としては、平城宮の「馬寮」や藤原宮にも類似の一面がある。宅地とみる考えもある。

このように、特徴的な建物や立地の良い場所に建てられている。ある程度広がりがあって、場所によって建物の形や大きさが違って、それぞれの特徴がある。当時は事務的な仕事だけでなく、現業的な仕事もしていたこと、建物形状には個性があり、違っている。このことから、ある程度役所の仕事や機能が分化していたことが推定できる。

(2) 藤原宮、飛鳥浄御原宮などの規模比較(役人の数を推定できる) 宮殿に官衙が占める面積(役所が建てられている面積を合算して) 前期難波宮：26万4,400㎡ (発掘された遺構は一部であるが、続いている平坦なところには同程度の建物があったと想定する) 飛鳥浄御原宮など：28万3,000㎡(相原嘉之2017の推定) 藤原宮：42万5,100㎡ 前期難波宮と藤原宮の間に飛鳥浄御原宮があり、規模からみると大きくあてはまる。前期難波宮は藤原宮の6割にすぎない。前期難波宮の役人が働いていたと推定できる。

(3) 文献に残る孝徳朝の官職名(どういう役所があったのか) 書「百官頭」「衛部」「判事」「刑部尚書」「官頭」「左大臣」「右大臣」「内臣」「国博士」

大宝律令がある。二官八省には出てこない官職がある。官職名があることから、官僚機構が整備されていたとすると評価し、それと比べていなくなったと評価が分かれることは、わりと役所の行政機能が分化していた。ある程度の数の役人が働ける広がりを持っていたといえる。

〇前期難波宮の遺構Ⅱ難波長柄豊碕宮 (1) 規模 建物の数が多い(14棟または16棟、普通は12棟か8棟)。庭が広い。建物の総面積が狭い。前期難波宮の後、飛鳥浄御原宮や飛鳥浄御原宮では、朝堂院の数が少なく、規模が小さい。規模などからいうと、遺構の繋がりを追うのに苦しい流れになっている。

朝堂院は中国にあるが、朝堂院は日本列島で創り出された部分が大い。

(2) 使い方や分かれる部分 大化改新により役人の数が急増し、政務(朝堂院)と実務(周辺の役所)の場が整備され、実際に政務を行っている(吉川真司)。

地方支配の改革が行われ、上京する地方豪族が急増し、彼らを受け入れる場が必要であったから。「早川庄八」が「政務のため」というより元日朝賀や仏教法会の儀式の場として利用。百官が集まって朝政を行う機能は十分に開花せず、使いこなされずに終わった。「西本昌弘」

(3) 新しい考え方(磐下徹2020、2021) 陛下らが朝堂院などに一堂に集まる朝会に当たる儀礼は成立し、しかし、朝堂を官庁として割り当て、職掌や官制、官人の階層などに使い分けられるのは想定したい。(朝堂政は想定できない) 外見は似るが藤原宮と前期難波宮の朝堂院の中身は違う。官僚制は整備されておらず、14棟または16棟の建物は役職ではなく氏族単位(蘇我系)の部系、大伴系など12系統の氏族があった。大伴系など12系統の氏族が皇親(天皇)の一族もあつたと朝堂の教とあつてくる。

・政務を氏族ごとに行っていた前代部民制の氏族制の側面を濃厚に引きずりつつも、陛下を一堂に集め、大王(天皇)のもとで政務や政治的決定を行なわせることで中央集権化をはかることを目的に用意された装置。

(4) 政策決定の場はどこであったのか? 前期難波宮の内裏中心部(内裏正殿)の新発見(2023) これまで、内裏前殿という大きな建物があり、その左右に長い建物がある。その後に内裏後殿があり、その後に左右に長い建物がある。その後に内裏正殿がある。この「正殿」の存在が事実になった。この「正殿」+「脇殿」の三棟一組が南北に並ぶ配置で、前期難波宮の後、飛鳥浄御原宮、飛鳥浄御原宮と、スムーズにつながっていることがわかる。前期難波宮において、内裏前殿と左右の建物に天皇以下の位の高い人が集まれば、実際の意思決定は高いことが、朝堂院がういてくる。

最近の難波宮発掘調査から考えると、西本さんや磐下さんの考え方のほうが、吉川さんの考え方がより実態にあっているように思う。

〇おわりに 前期難波宮の段階で、ある程度行政機構が機能分化し、役人の数も相当数いたと推定できる。しかし、政策決定の方法は、まだ十分に官僚制として機能していない。上層層・有力豪族を束ね、官僚として真に機能させる官僚制を整えていくのは、なお紆余曲折が前期難波宮以降にあつたかと思

られる。 転機は白村江での唐・新羅連合軍に対する大敗(663年)で、一挙に緊迫度が増した以降ではないか。 参考文献 ・高橋トモコ「前期難波宮の曹司遺構」『難波宮と大化改新』和泉書院 ・磐下徹2020「大化改新論に関する覚書」『難波宮と大化改新』和泉書院 ・磐下徹2020「前期難波宮の朝堂院Ⅰ孝徳朝の「官僚制」」 中尾芳治編『難波宮と古代都城』同成社 ・磐下徹2021「21世紀の大化改新論」『800年 難波宮』2023、前期難波宮と飛鳥宮、藤原宮「ヒストリア」310号 ・西本昌弘2008、「元日朝賀の成立と孝徳朝難波宮」『日本古代史の王宮と儀礼』塙書房 ・東野治之1996、大化以前朝の官制と律令中央官制―孝徳朝の中央官制を中心として―『長屋王家木簡の研究』塙書房

講座の後、NPP加盟団体のみなさん、法円坂住宅・近隣住民のみならず、大阪府全体不自由者協会のみならずと、難波宮跡公園と周辺道路の清掃を行いました。ありがとうございました。

▲清掃後、集めたゴミと参加者で記念撮影

お買い物・お食事は もりのみやキューズモールBASEまで!

Q's MALL もりのみやキューズモールBASE

NPP知らせ文

難波宮・大阪城・法円坂界隈に立地する会館、ホール、飲食店などが、大阪の歴史の出発点である難波宮の顕彰と緑豊かな大阪城・法円坂地域の活性化・振興を目的として「ナノワノミヤパレス・パートナーシップ」(略称 NPP)という連携協定を結び活動しています。

2024年5月9日(木) 15時30分から 法円坂ストリート・クリーンアップ作戦

第57回日時 / 2024年5月9日(木) 15時30分から16時30分まで

参加費 / 無料(作業手袋、ゴミ袋は用意します) 内容 / ミニミニ難波宮講座のあと、難波宮跡公園と周辺道路のゴミ拾い、清掃をします。(清掃に使う作業用手袋、ゴミ袋は会館で用意します) 集合 / 大阪市教育会館 1階会議室 申込み / お名前を財団事務局までお知らせください。(6941-0951)

今後の予定 第58回 2024年9月12日(木) 15:30~ 第59回 2024年11月14日(木) 15:30~ 第60回 2025年3月13日(木) 15:30~

大阪歴史博物館 特別企画展「おおさか街あるきーキタ・ミナミー」

いま、私たちがみている大阪の街は、歴史が隣り合い、積み重ねることによって生まれたものです。普段何気なく見ていたスポットひとつひとつの由来を知るとは、街あるきの大きな魅力といえます。私たちは街あるきを通じて改めて街を見つめ直し、その歴史や文化、言い換えれば街の懐の広さを知ることができるのです。

本展では、大阪を代表する繁華街であるキタとミナミを取り上げ、街歩きをするかのように具体的なルートを示しながら、それぞれの場所にまつわる館蔵資料や関連資料を通じて、街の魅力に迫ります。街を描いた絵図、歴史を示す古文書、解体時に残された建築部材などは、キタとミナミのどんな姿を映し出してくれるのでしょうか。“過去”と“今”をつなぐ小旅行にみなさまをご案内いたします。

会 期 2024年4月19日(金)～6月3日(月)  
 ※火曜日休館  
 開館時間 午前9時30分～午後5時 ※入館は開館の30分前まで  
 会 場 6階 特別展示室  
 観 覧 料 (常設展示観覧料でご覧になれます)  
 大人600円(540円)、高校生・大学生400円(360円)  
 ※( )内は20名以上の団体割引料金  
 ※中学生以下・大阪市内在住の65歳以上(要証明証提示)の方、障がい者手帳等をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料



▲佐賀藩蔵屋敷絵図  
 元禄5年(1692)日本生命保険相互会社蔵  
 【大阪市指定文化財】



**4** 2024 April

1 mon	
2 tue	
3 wed	習いごと広場 春の教室 4/2～開講 全11講座
4 thu	
5 fri	
6 sat	市民ギャラリー 「重慶市文史研究館 花鳥名作画展」 4/2～6/2
7 sun	
8 mon	
9 tue	
10 wed	
11 thu	大阪歴史博物館 特集展示 「再発見！秀吉の大坂城 -金箔瓦と家紋瓦」 ～5/6(月・祝)
12 fri	
13 sat	
14 sun	
15 mon	
16 tue	
17 wed	
18 thu	大阪歴史博物館 特別企画展 「おおさか街あるきーキタ・ミナミー」 4/19(金)～6/3(月)
19 fri	
20 sat	
21 sun	
22 mon	
23 tue	
24 wed	
25 thu	
26 fri	
27 sat	
28 sun	
29 mon	昭和の日
30 tue	

**5** 2024 May

1 wed	
2 thu	
3 fri	憲法記念日
4 sat	みどりの日
5 sun	こどもの日
6 mon	振替休日
7 tue	
8 wed	
9 thu	NPP クリーンアップ作戦 5/9(木)
10 fri	
11 sat	
12 sun	大阪歴史博物館 特集展示 「一わたしが難波橋(なにわばし)のライオン像をつくりました!! -なにわの彫刻家・天岡均- (あまおかきんいち)没後100年記念展」 5/8(水)～7/8(月)
13 mon	
14 tue	
15 wed	
16 thu	
17 fri	
18 sat	
19 sun	
20 mon	
21 tue	
22 wed	
23 thu	
24 fri	
25 sat	
26 sun	
27 mon	
28 tue	
29 wed	
30 thu	
31 fri	

**6** 2024 June

1 sat	
2 sun	
3 mon	市民ギャラリー 「重慶市文史研究館 動物画展」 6/4～7/31
4 tue	
5 wed	
6 thu	
7 fri	
8 sat	
9 sun	遊びながら英語力を育てる! 楽しい英語の教えかたワークショップ 6/9(日)
10 mon	
11 tue	
12 wed	
13 thu	
14 fri	
15 sat	
16 sun	
17 mon	
18 tue	
19 wed	
20 thu	
21 fri	
22 sat	
23 sun	
24 mon	
25 tue	
26 wed	
27 thu	
28 fri	
29 sat	
30 sun	ビール講座 6/29(土)

**お問合せ・お申込み**

ブルーの文化・厚生事業、習いごと広場のお申し込みは

**一般財団法人 大阪市教育会館**  
 事務局 大阪市教育会館 1階  
 TEL 06-6941-0951 FAX 06-6941-7474  
 E-mail:kaikan@zaidan.or.jp

**大阪市民教育研究所**  
 事務局 大阪市教育会館 2階  
 法円坂教育青年文庫 2階 教育研究団体支援室 R階  
 TEL 06-6948-5418 FAX 06-6948-5419  
 E-mail:kenkyusho@zaidan.or.jp

**大阪市教育会館・大阪市教育会館東館**  
 【フロント】TEL 06-6943-5021 FAX 06-6945-4833  
 E-mail:annex@zaidan.or.jp

会議などのご利用に URL <https://www.zaidan.or.jp>

**最寄り駅のご案内**

地下鉄谷町線・中央線「谷町4丁目」駅10番出口より  
 地下鉄長堀鶴見緑地線・中央線「森ノ宮」駅2番出口より  
 JR環状線「森ノ宮」駅より 各駅より徒歩約10分

